



第2巻
第9号

平成24年6月6日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県渋川市の小野池あじさい公園

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地・事務所感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

- <現地> 現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。
中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、
具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。
- <事務所> 平日のみの活動ですが、1~2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

6月2日(土)に実施しました。次号に議事録を掲載させていただきます。
次回は7月21日(土)18:00~ 協会事務所にて開催します。

災害支援 SW 報告会について

今回は千葉県医療社会事業協会 南総地区勉強会との共催で開催します。

日時：6月13日(水) 18:00~20:00

場所：亀田総合病院 K棟13階 ホライゾンホール

昨年度、長期に渡って当協会の災害支援活動にご協力いただいた亀田総合病院のSWと元現地担当者の佐藤杏氏から活動の報告を行います。どなたでもご参加可能です。

6月8日(金)までにお申込み下さい。

申込用紙はホームページからダウンロードできます。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/touhoku/info_detail.php?@DB_ID@=28

Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

書籍販売のご案内



『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』
の販売を開始しました。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

注文用紙は災害支援ニュース8号または下記よりダウンロードしてください。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

現地感想文

5月28日(月)

総会、全国大会に続き研修会と、ずいぶん長く留守にしました。石巻に「帰ってきた！」と思わず言ってしまう。みなさまもお疲れのことと思います。群馬の皆さま有難うございました。新緑の中、心に関わりあつた、良い集会でした！今朝は8時半から、朝の打ち合わせ会に出向き、MSWからのショートレクチャー「MSWのお仕事」を簡単に調査員や事務の皆さんにお話ししました。とても好評で、来週は今日ちょっと触れた「アスベスト被害」についての話をオーダーされました。

5月29日(火)

中里サポートセンターでは、そこここで打ち合わせが行われています。第2期在宅調査の帳票内容、フォロー体制、また引き続き1期フォローケースについて…市民の方々の状況も、NPOボランティアの状況も、他機関との関係も刻々と変わっていきます。突発的な打ち合わせも多々、困惑もあり。それでも市民の方々を支えるよりよい調査&フォローを！という熱意に、どの方もあふれています。熱い一体感の一角に身を置き、私も一層の責任感を感じています。

5月30日(水)

本日の中里の朝ミーティングでは、養護教諭で救急救命士でもある方から学校保健についてレクチャー。終了後、学校では子供達への心理的支援がどう行われるのか、石巻ではどうか？が話題に。また、夜協力員の方々と一緒に夕食のお店で、マスターの奥様(支援学校講師)から、避難所になった支援学校や子供たちの様子も伺いました。どちらも震災後の子供達への心理的支援が十分なのか、気になる話でした。

5月31日(木)

石巻市立病院の開成団地仮診療所が、本日開設。夕方、ご挨拶に伺いました。病院ではTVクルーが取材中。その後、院長と阿部師長にご挨拶。協力員として参加中の児玉さん(亀田総合病院)は、遊楽館時代にご一緒されていた阿部師長との再会に、ともに旧友に会ったかのような様子でした。長先生は本病院開設に向けて少なくともSWを2名、できれば4名ほしいと思う、と仰っていました。

6月1日(金)

急な用件がいくつか入り、昨日に続きあわただしい一日でした。思わぬ見学や取材対応、調査員の方や他専門職の方からの質問や依頼も随時飛び込んできます。

逆にこちらも気軽に質問や依頼を投げ、すぐに答えが返ります。連絡がスムーズになり、困惑してきたことがいくつも解決。今の時代、電話やメール・ITツールでどんな仕事も十分可能ですが、やはり同じ場所顔をあわせて仕事することの効用は大きいなあ、と今更ながらに思っています。

事務所感想文

5月29日(火)

尾方(西群馬病院)

初めて活動させて頂きましたが、一原さんの邪魔ばかりしていた気がします。本部のこれまでの御苦勞をほんの少しですが、感じる事ができました。これからも微力ながら参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。